

子どもに
関わる
みなさんへ

アンコンシャス バイアス ってなに？



はじめに

「男は仕事、女は家庭」という昔ながらの固定的な性別役割分担意識は、
安城市においても薄らいできています。

しかし、実際の家庭や職場ではどうでしょうか？

無意識の思い込みによって人に押し付けている価値観や
性別によって期待してしまっている考え方・役割はないでしょうか？
このパンフレットは、変化の大きい時代を生きていく子どもたちが
性別によって可能性を狭めてしまうことがないよう、
そして自他を大切にして生きていくことができるよう、

まずは子どもたちに関わる子育て中の方々や保育・教育に携わる方々の意識や態度について、
男女共同参画の視点で改めて振り返っていただくために作成しました。

安城市

あなたのまわりに こんなこと、 ありませんか？



(30代女性)

子どもが体調を崩した時は、**母親である自分が仕事を休むか早退して病院に連れて行かなくてはならない。**夫の職場でもこれがあたり前と思われている。お客様に迷惑をかけてしまうという点ではどちらも同じなのに…。

専業主婦だけど、家事、育児などはすべてこなしてあたり前。完全な休みはまったくない。



(30代男性)

職場の50代以上の世代が、「**男性は仕事に重きを置くべき**」との感覚が強く、従わざるを得ない。



(30代女性)



(40代男性)

子育てや家事に参加することを、すごいことであるかのように言われた。
家庭の事で仕事を休むときに周りから変な目で見られる。

家庭や職場で…

令和4年度に実施した「安城市男女共同参画に関する市民アンケート」では、実際の経験談として共働きであっても「育児に関わることは母親に」、「家庭のことは女性がやっているのだから男性は残業を」といった、性別によって役割や任せる仕事を決めつけている事例が多数みられました。このような、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)は社会全体や身近な生活の中に存在しています。



無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)

「アンコンシャス・バイアス」とは、誰もが潜在的に持っている思い込みのことです。育つ環境、所属する集団などで幼い頃から長年にわたって形成され、既成概念、固定観念となっていきます。「女性／母親は普通こうあるはず」「男性／父親なら当然こうするべき」といった、大人の無意識の思い込みや何気ない言動が、子どもの男女共同参画への意識や、進路・生き方などに影響を与える可能性があります。

学校や園で…

保育士・幼稚園教諭アンケートでは、就学前の子どもに、固定的な性別役割分担意識や性別による「無意識の思い込み」などの影響を及ぼしていると考えられる事例として絵本やテレビアニメ、周囲からの子どもへの声掛けなどがあげられました。

就学前の子どもに性別による 「無意識の思い込み」などの 影響を及ぼしていると考えられる事例



「男の子なんだから泣かないの」「女の子なんだから乱暴しません」というような大人から子どもへの声かけ。また、ままごとは女の子の遊び、ミニカーは男の子の遊びというように大人が勝手に決めつけること。



子ども自身が「女の子は髪が長いもの、短いのは変」「女の子はかわいい物が好き」「かっこいいのは男の子」というイメージを持っていることが多い。テレビのアニメや、大人が持っている思い込みを何となく子どもも感じ取ってしまっているのかな、と思う。



男の子なのにピンクはおかしい!
などの子ども自身からの声もまだあると思う。



隠れたカリキュラム

隠れたカリキュラムとは、「教育する側が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、児童生徒自らが学びっていく全ての事柄」を指します。子どもが過ごす園や学校の雰囲気、日常的にふれる絵本やテレビ番組などにおいて、性別に関する決めつけや偏見、無意識の思い込みにつながるようなものがないかどうか、振り返ることが大切です。

「アンコンシャス・バイアス」 を意識してみよう

ある職場で…

配慮したつもりでも、受け取り方は様々。
一人ひとりの状況によって異なります。
話し合って、お互いに納得して決めることが大事です。



今度の出張だけど、〇〇くん
にお願いしたから、Aさんは
いかなくていいよ！

えっ！



子どもも小さいし、
大変だろう。

ありがたい。出張先は遠
方だし、保育園のお迎え
時間までに帰れそう。

女性は本当はどう思っているでしょうか？

夫と交代で子育てしてい
るから行けるのに…私の
お客様だから責任持
て行きたかった。

ある家庭で…

家事は家庭生活に必要な仕事です。
役割に対する固定概念を持たず、互いに協力する
ことが大事です。



女の子なんだから手伝って！

女性だけが家事をするのは
当たり前でしょうか？



お母さんも働いている
のに大変だな…

なんでお父さんとお
兄ちゃんは手伝わな
いんだろう？



ごはんまだ？

頭では“男女共同参画”を理解している人が増えていると言えますが、無意識に性別による役割を期待したり、押し付けたりすることが日常の様々な場面で存在しています。

無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)は、本人も気づかないものであり、発言をする人も、悪気がないことが多いと思われます。しかし、言われた側の受け取り方は様々です。誰もが「自分も無意識の思い込みがある」と認識して、言動を振り返ってみることが大切です。

ある園で…

ほめているつもりでも、それって個性よりも性別を優先した表現になってしまっていませんか？固定観念がない子どもにとっては影響が大きいものになります。



「当たり前」を見直して「一人ひとり」のことを考えよう

男女共同参画がなかなか進まない原因の一つに、働き方・暮らし方の根底に、長年にわたり人々の中に形成された「アンコンシャス・バイアス」があることがあげられます。

特に、「子育ては女性が中心になってやること」「子育てにおいて男性はあくまで補助的な役割」という考え方は、いろいろな家庭のあり方を否定したり、職場での社員の活躍の可能性を狭めてしまったり、子どもたちに多様な価値観をはぐくむ機会を奪ったりしてしまいます。

性別に基づく「当たり前」を見直して、「一人ひとりが性別に関わらず活躍できる」家庭や職場をつくっていくことが大切です。

こんな表現を見直してみよう

女性／男性なのに…

こうあるべき！

普通は…

女性／男性なら…

たいていは…

こう決まっているから

アンコンシャス・バイアスは誰もが持っているもので、良し悪しはありませんが、発言が周囲に影響を与えることを意識しましょう。





「第5次安城市男女共同参画プラン」

安城市では、最終目標である「男女共同参画社会の実現」を目指し、令和6年3月に「第5次安城市男女共同参画プラン」を策定しました。

安城市の目指す男女共同参画の姿

- SDGsの考え方を踏まえた「ジェンダー平等の実現」を目指す視点であらゆる取組が展開される。
- 職場で活躍したい人、家事や育児・介護等の家庭生活に専念したいと思う人など、それぞれの希望が叶えられる環境がある。
- 女性の活躍とあわせて男性の家庭参画を進めることで、男女が家庭内の役割を分かち合うことができる。
- 誰もがその生き方を否定されず、個人として尊重され、安全・安心な暮らしを送ることができる。

体系図



Pick up!

プランの取組をご紹介！

第5次プランでは、子育て世代のみなさんや、子ども含む多様な世代への啓発、男女共同参画に関する学習機会の提供など、様々な取組を進めています。一部の取組をご紹介します。

パパ講座

男性が子育てや家事等に積極的に関わることができるように、お父さん向けの子育て講座を定期的に開催しています。ベビーマッサージや体あそびなど月齢に応じた触れ合いあそびに参加していただくことができます。
(要予約)



育メン広場

市内在住の0歳からおおむね3歳未満の子どもとお父さんが一緒に遊べる広場を定期的に開催しています。

遊びや交流等を通じて、育児に積極的に関わりたいお父さんを支援しています。
(要予約)



パパママ教室 べんきょう編

これから赤ちゃんを迎える家族を対象に、新生児のお世話や出産前後の心の変化、歯の健康管理等について学ぶことができる教室を開催しています。カップルがともに子育てに関わることを伝えます。
(要予約)



デートDVに関する リーフレット配布

若い世代に「デートDV」知識の普及を進め、被害・加害の未然防止を図るため、市内の中学3年生にリーフレット等を配布しています。また、DVに関する相談先の案内をトイレや窓口で手に取ることができるよう設置しています。



男女共同参画イベント

性別や年齢に関係なく、幅広い市民を対象に、男女共同参画に関する知識の普及を目的としたイベントを開催しています。多様なテーマ設定をしており、興味・関心に合わせて参加していただくことができます。
(要事前申し込み)



パートナーシップ・ファミリーシップ 制度の制定及び運用

性別に関わらず、互いを人生のパートナーとして協力し合うことを約束した関係にあると宣誓したことを市に届出し、その証明書を市が発行します。子どもも含めて家族としてファミリーシップを宣誓でき、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくなります。



計画の詳しい内容は右記から見ることができます





ANJO

子どもに関わるみなさんのための啓発パンフレット

令和6年(2024年)3月

発行:安城市

編集:安城市 市民生活部 市民協働課

〒446-8501 安城市桜町18番23号

TEL:(0566)71-2218 FAX:(0566)72-3741

Email:kyodo@city.anjo.lg.jp